

平成 30 年度強度行動障がい支援者養成研修実践研修事前課題

【事例概要】

【氏名】H さん 男性 【生年月日】平成 10 年 10 月 24 日（現在 19 歳）

【入所】平成 29 年 4 月 2 日 K 福祉会 グループホーム N 入所

【家族背景】祖父母・母・姉・ご本人・妹・妹

H さんより 4 歳上の姉は東京在住。

祖父母とは別居しているが、時折援助していただいている。

【診断】自閉症 療育手帳 B1 障がい者支援区分 5

【通院歴】平成 27 年 4 月にご家庭で大きなパニックがあり、メンタルサポート S 病院へ受診・入院を受け、退院後定期通院となる。途中、T 病院へ転院し、現在も通院を続けている。

【生育の状況】

平成 10 年 10 月 24 日に誕生。平成 13 年 7 月自閉症の診断を受ける。

同年 8 月より児童発達支援センター I へ入園。平成 17 年 3 月卒園し、同年 4 月 U 養護学校へ入学。平成 24 年中等部 2 年から寄宿舎を利用。

平成 29 年 3 月養護学校卒業。4 月より K 福祉会のグループホーム N に入所
同年 4 月、日中事業所 K への通所も開始する

【特性】・強いこだわり

衣類：ご自身のお気に入りの衣類を主に着る。

音楽：気に入っているフレーズの部分を何度も繰り返し聴く。多くの CD を自分の手元に置いておく。

食事：麺類、パンをととてもよく好み、ご自身の分と他利用者さんの分を把握できない事がある。偏食あり。

自傷行為：外の砂利・アスファルトや壁に頭を打ち付ける、寝っころがる。
コミュニケーションが伝わらないときにパニックがある

器物破損行為：家電製品を投げる・ひっくり返す。

●コミュニケーション方法

スタッフからは口頭、絵カード、マカトンサイン使用。

ご本人からはジェスチャー、単語を使用されている。

【事前課題資料】平成 30 年度強度行動障がい支援者養成研修実践

●基本的な課題行動

- ①音楽を特に好んでおり、音楽を聴いていると、始終個人の世界に入ってしまうため、他者とのコミュニケーションを図る事が難しく、集団行動に慣れていけない。
- ②こだわりが強く、他利用者さんの物を自分の物にしてしまおうとする事もある。
- ③視覚的支援で予定を把握できないとフリーズしてしまい、活動が難しくなってしまう事もある。
- ④言葉での意思表示が難しく、思っている事をうまく他者へ伝えられず、パニックに繋がってしまう。
- ⑤初めて訪れる場所が苦手で、場合によっては外出をしても降車できないことがある。

●支援（療育）体制 支援（療育）の経過

①支援体制（寮／クラス等の職員配置、利用者数、日課等）

6：00～7：00	起床 更衣、洗顔、整髪	夜勤者1名 早番者1名
7：30	朝食	
9：00	日中事業所へ通所 午前：運動・ドライブ 午後：活動・余暇時間	日中支援者5～6名
16：00	ホーム帰所	夜勤者1名 C勤者1名
17：00	余暇時間（音楽鑑賞）	
18：00	夕食 歯磨き、洗濯物干し	
～19：30	余暇時間（音楽鑑賞）	夜勤者1名
19：30	眠剤服用 消灯・就寝	

●支援方法と支援の結果

- ・養護学校在籍時はパーテーションで区切られた、刺激の少ない個別スペースで音楽を聴いたり、ドライブ・公園などに出掛ける支援を行っていた。お出かけの際は絵カードなどで出かける先をお伝えしてパニックを起こさないよう、刺激を減らしていた。
- ・外出については、絵カード、マカトンサインを使用する事でスムーズに外出できる時が増えている。音楽に集中しすぎてスタッフの言葉が入らない時も見られている。
- ・食事でも刺激を減らし、パーテーションの中で召し上がっていただいている。パーテーションの中なので特に他利用者さんの物を取ってしまうこともなく、落ち着いて食事できている。
- ・卒業後、グループホーム入所後からは一日の流れを絵カードで提示し、余暇時間はご本人に「音楽鑑賞」か「DVD 観賞」かを選んでいただいていた。食事面はご本人分の食事をおぼんに乗せて視覚的に分かるよう提供。又、少しでも摂取量が上がるよう、ご本人の苦手な物と食べられるものを拾い分けて提供していた。
- ・入所後の支援の結果、口頭でも指示は入るが、絵カードやマカトンサインがある事によってよりスムーズに動く事ができるようになっている。一日の流れもご本人の中に入ったようで、声掛けなしに食事の時間の頃にリビングに来られたり、食後すぐに歯磨きをし、洗濯物を干すことが出来ている。余暇時間の選択については、スケジュールで選択する以前に、ご自身で CD プレイヤーを出して音楽鑑賞をされていた。

●領域別アセスメント

領域		着眼点	施設での状況	家庭での状況
生 理 的 基 盤	睡眠	入眠、起床時間、夜間の様子等	19:30 眠剤服用、消灯。6:00～7:00 起床。夜間起きてこられることはほとんどない。	左と同様。
	排泄	排尿、排便の状況、失敗の有無、下痢／便秘等	自立。排便はだいたい良便。便座にしゃがんで排便する。	自立。排便時は便座にしゃがむ
	食事	食事量、時間、おやつ、偏食、食事の様子等	偏食あり。麺類、から揚げ、揚げ物の衣、あんこが好み。 野菜はほとんど苦手。歯に挟まるものも好まない。	麺類を特に好んで食べる。 蕎麦 3 人前を完食することもある。
感 覚 的 基 盤	味覚	偏食、味の好み、飲み込み、嚥下、食事のスピード等	偏食あり。野菜は苦手。食事ペースはゆっくり。口いっぱい食べ物をはおぼる。	偏食。野菜は食べない。
	聴覚	嫌いな音、好きな音／音楽、好きな場所、嫌いな場所、耳ふさぎ等	音楽はヘッドホンをして大音量で聞かれている。	左と同様
	触覚	衣服の材質、入浴・歯磨きの様子、対人接触等	入浴ほぼ自立だが仕上げは必要。歯磨きはスタッフ介助。体へ触られることは苦手。	入浴自立。
	嗅覚	食事の好み、嗅ぐしぐさ等	肉・魚・麺類・揚げ物の衣好き。あんこなどの甘いお菓子も好き。	左と同様
	運動	ロッキング、ジャンピング、常同運動、反復運動、歩行の様子、多動、模倣等	音楽鑑賞中、ロッキング有。歩行は普通だが、突如走り出すことあり。トランポリン好き。	音楽を聴いている時は身体を激しく揺らすことがある。
認 知 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	発生・発語の様子等	発声はあるがはっきりした発語はほぼない。歌はよく口ずさんでいる。		
	発信	イエス・ノーの伝達方法、拒否や不安の表現、パニックの様子等	パニック時は物を投げる、倒す。頭で窓を割ったこともある。	左と同様
	要求伝達の方法等	要求伝達法は絵カードやマカトンサイン、ジェスチャー。	ジェスチャーが主	

【事前課題資料】平成 30 年度強度行動障がい支援者養成研修実践

	受信	言語理解レベル、絵カード、 写真カードの理解等	支援者側からの言葉は理解しているが、カードなど視覚から情報を与えると理解度があがる。	
	変化への対応	同一性保持の様子、イレギュラーへの対応等	イレギュラー時は絵カード・写真で対応→理解して下さる	
	時間	時間の理解、時間の概念等	時間の理解はされている様子無いが、食事の時間が近くなるとリビングなどへ出てくることがあったりする。	特になし
趣味・関心・余暇	テレ	好きな番組嫌いな番組等	教育番組系が主に好き。	左と同様
	音楽	好きな曲、嫌いな曲等	ミッキーマウスマーチ、教育番組系、J-popなどが好き。お気に入りのフレーズを何度も繰り返し聴いている。	左と同様
	本・雑誌	好きな本、嫌いな本	ディズニーの雑誌や卒業アルバムが好き。	家では就寝時、頭元にメロディーブックや卒業アルバムを開いて置いている。
	対人関係遊び	2人以上で楽しめる遊び、活動、快経験を得られる遊び等	ほとんどなし。	なし。
	趣味の範囲	特定なものへの関心等	音楽を聴くことが好き。お気に入りのフレーズを何度も繰り返し聴いている。	祖母宅ではご自身から祖母へお散歩に行きたいと要求がある。
	その他	その他の遊ぶ、余暇活動全て	自慰行為あり。	入浴中、自慰行為あり。
課題遂行	作業	作業種、作業の様子	日中事業所では歩行、ワークを行っている。	
	手伝い	手伝いの内容、様子	食後の下膳をご自身からやってく下さることもある。居室の窓閉め、カーテンひきは声掛けするとご自身で行われている。	母の荷物を持ってもらえることがある。

【事前課題資料】平成30年度強度行動障がい支援者養成研修実践

視 覚 的 支 援	スケ ル ジ ュー	支援の方法、状況、理解 度	支援方法は絵カード・写真・マカ トンサインを使ってお伝えする。 理解度は高め。	
	自己 決定	情報提供の方法、自己決 定の方法、場面	やること、やりたいことは絵カー ドを持ってきてスタッフに渡し てきてくださる。選択する場合、 二択にするとご自身で指さしが あり、決定して伝えてくださる。	
が 家 庭 と の つ な	面 会	面会の頻度、面会の様子	現在はなし。この先検討中。	
	帰 省	帰省の頻度、帰省の様子	週末（土～日）帰省実施。	
そ の 他				

MEMO